

症例報告会 (2021 年 4 月 13 日)

毎月 2 回程度の薬局内ミーティングを行っています。
その時々業務について、症例報告、インシデント対策 等々、
忌憚なく話し合いをしています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、報告会も開催を控えて
いましたが、4 月は当院の山本院長にもご参加頂き、久々に症例報告会を
行いました。

実際に治療をされた院長の診察時の考え等を直接聞くことができ、有意義な時間となりました。



●症例 1) ダイアモックス[®]による尿管結石が疑われた症例

患者情報：緑内障手術目的で入院

持参薬：アセタゾラミド錠 (ダイアモックス[®]錠)、緑内障点眼 4 種 など

経過：入院前日より無尿。腹痛 (+)。入院後、導尿しても排尿無し。山本院長へ対診依頼となる。
点滴等で排石あり、痛み改善。

●症例 2) 肺炎・栄養不良・低ナトリウム血症を併発した症例

患者情報：肺炎の精査・加療目的で入院

持参薬：チクロピジン、腸溶性アスピリン、エソメプラゾール、デュタステリド AV など

経過：水腎症、両側性胸水あり。発熱も継続。持参薬は継続するが内服拒否となることもあり。
好き嫌い激しく食事は少ない時は半分程度のみ摂取。
肺炎については培養を行い抗生剤投与、栄養不良には TPN を施行。
低ナトリウム血症も Na 値を測定し、その都度補正を行った。

<院長より>

病棟薬剤師として、医師へどのようにアプローチしていくのか？を考えて欲しい。

なぜその薬を使っているのか？を考える。わからなければ聞いてくれれば良い。

病態を考え、何を調べる (検査する) べきなのか？を考える。

主治医としては、同じような状況で他の医師がどのようにしてるか？という情報を知れると嬉しい。